



2022年5月23日

## マツダ、「フレアクロスオーバー」を一部商品改良

- 先進安全装備が充実した、遊び心が詰まった個性的な軽自動車へ進化 -

マツダ株式会社(以下、マツダ)は、軽乗用車「フレアクロスオーバー」を一部商品改良し、先進安全技術の強化など装備改良と外観/内装の一部変更を行いました。全国のマツダ販売店を通じて、本日より発売します。



フレアクロスオーバー「HYBRID XS(4WD、全方位モニター用カメラパッケージ装着車)」  
ボディカラー：フェニックスレッドパール2トーンカラー

今回の一部商品改良の概要は以下の通り。

### ■装備の改良点

- ・全機種に全車速追従機能付きのアダプティブクルーズコントロール(ACC)と車線逸脱抑制機能を標準装備。
- ・全方位モニター用カメラ装着車\*1に狭路での接触防止をサポートするすれ違い支援機能を追加。
- ・「HYBRID XG」にLED ヘッドランプ(ハイ/ロービーム：オートレベリング[光軸調整]機構付)を追加。
- ・「HYBRID XG」を除く全機種にフロントワイパー時間調整機能を追加。
- ・「HYBRID XG」を除く全機種にUSB チャージャー(インパネ×2)を追加。
- ・特別仕様車「HYBRID XS SPECIAL」「HYBRID XT SPECIAL」はナノイーX\*2をフルオートエアコンに搭載。

### ■外観/内装の改良点

- ・「HYBRID XG」「HYBRID XT」にボディカラー「ピュアホワイトパール 2トーンカラー」を追加。
- ・特別仕様車「HYBRID XS SPECIAL」「HYBRID XT SPECIAL」に2色のボディカラー「シフォンアイボリーメタリック 2トーンカラー」「アーバンブラウンパールメタリック 2トーンカラー」を追加。
- ・2トーンボディ色のフロント&リアバンパーガーニッシュ色をボディ同色からルーフ同色へ変更。
- ・特別仕様車「HYBRID XS SPECIAL」「HYBRID XT SPECIAL」の内装カラーガーニッシュをチタニウムグレー一色に変更。

尚、軽乗用車「フレアクロスオーバー」全機種は経済産業省や国土交通省が普及を推進する「サポカーS ワイド」\*3、国土交通省による「衝突被害軽減ブレーキ(AEBS2)認定車」\*4に該当します。

- フレアクロスオーバーに関する情報サイト：<https://www.mazda.co.jp/cars/flair-crossover/>  
グレード・価格などの詳細はこちらで確認ください。  
<https://www.mazda.co.jp/cars/flair-crossover/grade/>

- フレアクロスオーバーのメーカー希望小売価格帯(消費税込)は以下のとおり

価格帯：1,442,100 円～1,886,500 円

以上

- 
- \*1 全方位モニター用カメラ(フロント/サイド左右/バック)は、「HYBRID XS」にオプション設定、「HYBRID XS SPECIAL」「HYBRID XT」「HYBRID XT SPECIAL」に標準装備となります。
  - \*2 nanoe、ナノイー及びnanoeマークは、パナソニック ホールディングス株式会社の商標です。
  - \*3 衝突被害軽減ブレーキなどの先進安全技術をはじめとする一定の運転支援機能を備えた車(安全運転サポート車。略称・サポカー)のうち、ペダル踏み間違い時加速抑制装置などを搭載することで特に高齢運転者に推奨される「サポカーS」の区分のひとつ。「サポカーS ワイド」は、衝突被害軽減ブレーキ(対歩行者)、ペダル踏み間違い時加速抑制装置、車線逸脱警報、先進ライトを搭載する車です。尚、安全運転を支援する装置は、交通事故の防止や被害の軽減に役立ちますが、これらの装置も万能ではなく、条件によっては装置が作動しない場合もあります。装置の機能を過信せず、引き続き安全運転を心掛けて頂きますようお願いいたします。
  - \*4 事故防止対策の一環として、衝突被害軽減ブレーキ、ペダル踏み間違い急発進抑制装置が一定の性能を有していることを国土交通省に認定された車です。尚、「衝突被害軽減ブレーキ」及び「ペダル踏み間違い急発進抑制装置」は、ドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、路面や天候等の状況によっては作動しない場合があります。機能を過信せず安全運転を行ってください。詳しくは店頭又はWeb をご確認ください。